

地域の会 質問・意見書

日付：2026年9月15日

氏名：星野 俊彦

東京電力 に対する



・ 意見（いずれか○）

・ 中央制御室ゲートでの ID カード不正使用について

（以下：新潟日報 2026/8/28 報道の稲垣所長の 8 月 27 日の発言より）

「出入管理システムの不具合は経年劣化で 2016 年ころから発生。全号機で多い日は 1 日数百件出た」

質問 1 1 号機から 7 号機の出入管理システムの不具合について、2016 年から 2026 年（今日）までの発生件数とその状況を、それぞれの号機ごとにまとめて一覧表で示して欲しい。

「管理システムの不具合は発電所内で把握はしていたが原発トップの稲垣氏への報告は不適切行為が起きるまではなかった」

質問 2 稲垣所長は不適切行為があった今年 2 月 18 日に初めて管理システムの不具合の報告を受けたわけであるが、全号機で多い日は 1 日数百件も発生していた不具合を「発電所内では把握していた」と言う「発電所内」とは誰なのか（どの部署なのか）明らかにして欲しい。

「立ち入り制限区域の見直し工事に合わせ、セキュリティシステム全体を更新し、不具合の解消も図る計画」

質問 3 セキュリティシステムの更新計画はいつ（何年何月）着手したのか明らかにして欲しい。

質問 4 御社は 2002 年のトラブル隠しの反省に立ち、その対策として「しない、させない、言い出す仕組み」を東電の安全文化の基本として徹底する事を私達市民に約束した。今回の不正行為では「しない、させない」の基本原則を守る機能が完全に崩壊している。約束を反故にした御社は原発を運転する資格を完全に喪失しているが、この点をどう考えているかを伺いたい。